

とねやま

編集・発行

大阪府立刀根山支援学校
 本校教育部・訪問教育部
 ☎06-6853-0200
 大阪精神医療センター分教室
 ☎072-847-6951
 阪大病院分教室
 ☎06-6876-5229
 関西医大総合医療センター分教室
 ☎06-6995-5215
 関西医大附属病院分教室
 ☎072-845-7033
<http://www.osaka-c.ed.jp/toneyama-y/>

校長 門田 浩一

遅ればせながら、本年度4月に前任中村昌子先生のあとを受けて着任しました、門田 浩一です。どうぞよろしくお願いたします。

さて、今年は2月の終わりから新型コロナウイルスへの対応で、児童生徒の皆さん、保護者の皆さまには本当にご心配をおかけしています。この記事を書いている時点(7月14日)でも、まだまだ油断のできない状況が大阪でも続いています。正直な気持ちをお伝えすれば、私たち教職員も先の見えないウイルスへの対応に、もやもやとした不安を抱きながら毎日を過ごしております。

しかし、その不安を吹き飛ばしてくれるのが児童生徒の皆さんの姿です。分教室や訪問教育部、そして本校に分かれていて、児童生徒全員がそろうということができない刀根山支援学校ですが、私たち教職員は皆さんの学びを支えるために、それぞれの部署でしっかりこの状況に立ち向かっていきます。

何か困ったこと、不安に思うことがあれば、どんなことでもお話ししてください。一緒に力を合わせて、この状況を乗り切っていきましょう。

最後になりましたが、6月から学校のWEBページが新しくなり、校長ブログも始めました。ブログの中では、日々の学校生活の一幕をお伝えしていきたいと考えています。ぜひご覧ください。



学校WEB



校長ブログ

教頭 高原 浩徳

今年度も教頭として勤務いたします高原です。昨年度末から、新型コロナウイルス感染防止対策のための臨時休業が続き、児童生徒の皆さんの顔を見れない状態が長く続きました。6月になり、やっと授業を再開し皆さんと教職員が顔を合わすことができるようになりました。しかし、また、いつ新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時休業になるかもしれません。普段当たり前のように思っていた学校があること、授業を受けることが日常生活の大きな部分を占めていたことに改めて気づかされたのではないのでしょうか。何気ない毎日を大切に過ごしましょう。私自身もそう思いながら日々を過ごしていきます。

教頭 朝重 浩一

今年度は、本校教育部、訪問教育部の担当をさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

新型コロナウイルスのため休業で長らく児童生徒、保護者のみなさんにはご不便をおかけしております。見通しが立ちにくい中で、一日でも早く感染の収束と通常の学校生活が送れるようになればと願っております。なお一層関係諸機関と連携してまいります。安心、安全な学校生活を取り戻すために、何卒よろしくお願いたします。

PTA 役員名簿 今年度の役員は次の通りです。

- 会長：〇〇〇〇 ●副会長：〇〇〇〇 ●書記：〇〇〇〇 (関西医科大学附属病院分教室 教職員)
- 会計：松葉典明(事務長)、〇〇〇〇(訪問教育部 教職員)
- 会計監査：〇〇〇〇(本校 教職員)、〇〇〇〇(大阪大学医学部附属病院分教室 教職員)

各部・分教室の担当教員は以下の通りです。本校：〇〇〇〇 訪問：〇〇〇〇 阪大：〇〇〇〇

大阪精神医療センター：〇〇〇〇 関西医大総合センター：〇〇〇〇 関西医大附属病院：〇〇〇〇

日頃、なかなか学校全体として活動はしにくい本校のPTA活動ですが、刀根山支援学校の一員として楽しく活動していきたいと考えています。よろしくお願いたします。

本校教育部

◇オンラインでの取り組み◇

5月中旬からオンラインホームルームと学習に取り組みました。久しぶりの友達との会話に、初めは照れくさそうな表情をしていましたが、自粛中の出来事や今年度の目標を話し合いました。対面授業とは違った学習でしたが、それぞれの場所やスタイルで学習に取り組みました。



◇Restart◇ 6月15日(月)より

授業が再開されました。新しい生活スタイルでの学校生活のスタートです。久しぶりに生徒の元気な声が学校に戻ってきました。



◇入学式◇ 7月2日(木) 待望の入学式を行い、高等部に1名の新生を迎えました。

訪問教育部

★★ボバース記念病院★★



訪問教育部の中でたくさんの児童生徒が入院している病院です。2Fには主に小学生、3Fには主に中学生が過ごし、リハビリを頑張っています。

授業ではそれぞれの目標に合わせた個別学習を行っています。

6月30日(火)に刀根山支援学校の本校とボバース記念病院をZoomで繋ぎ、オンライン授業を行いました。音楽やクイズ、パネルシアターなどをしました。



大阪精神医療センター分教室

一斉休業中、個別に宿題を準備し配付しました。児童生徒がスムーズに分教室に通えるようにするため、教員による動画を作成しました。内容は、『分教室の教室案内』『分教室歌』『教員紹介』『チャレンジしてみよう(縄跳び、リフティング、けん玉、逆上がり)』。この動画を病棟で上映いただき、休業中の児童生徒が分教室のイメージを持つことができました。5月になり初めて登校してきた生徒が「先生、動画を観たよ」と笑顔で声をかけてくれました。5月に居場所づくりとなる登校日を7日設定し、6月からは毎日の授業が再開されました。新型コロナウイルス感染症対策のためにこれまで通りとはいかないことも多い状況ですが、児童生徒が安心して登校できる場所となるように、分教室と病棟が連携して教育活動を行っていきます。

大阪大学医学部附属病院分教室



☆いよいよ始まったね! ☆

季節はもう夏。病棟入り口には、子どもたちの願いのこもった色とりどりの短冊が、大きくて立派な笹に飾られています。子どもたちの春は、宿題に取り組んだり、地域校のオンライン授業に参加したりして、力を蓄える季節となりました。夏は蓄えた力を糧に、それぞれの花を咲かせようね!



♪ようこそジェニファーさん♪

今年もジェニファーさんと一緒に学習しました。教室の大きなテレビ画面を通して、ジェニファーさんと英語で自己紹介をしあったり、ビンゴゲームをしたりして活動しました。緊張した様子も見られましたが、楽しく学ぶことができました。

関西医大総合医療センター分教室(滝井)

関西医科大学総合医療センター分教室は小児科の医師と連携しながら子どもたちのスムーズな地域校への復帰をめざしています。地域校とも連携し登校練習や考査の分教室受験などを行い、子どもたちのサポートをしています。

子どもたちは小学部と中学部にそれぞれ在籍しています。授業科目は5教科と芸術や体育、家庭科なども行っています。教科書以外にもICTの活用など、それぞれの子どもの合わせた授業が実施されています。授業以外の時間も子どもたちは和やかな雰囲気でおしゃべりやゲームなどをして過ごしています。

入院の理由は一人ひとり違いますが、互いを思いやり、退院に向けて日々を重ねています。

関西医大附属病院分教室(枚方)

4月・5月は新型コロナによる休業でしたが、5月18日(月)から29日(金)の期間にオンラインによる登校日(週2回)を設定しました。接触を避けるために、教室と病室をiPadでつなぐものでしたが、久しぶりの学校に子ども達は楽しそうな笑顔を見せていました。授業再開は、6月1日(月)からになりました。時間や活動に条件がつくことがありますが、病棟と相談しながら子ども達にとって有意義な時間となるように心掛けた授業を行っています。ZOOMのアプリなどで、互いの自己紹介をし合っていたこともあり、教室開放後は、授業をスムーズに行うことができよかったです。

